

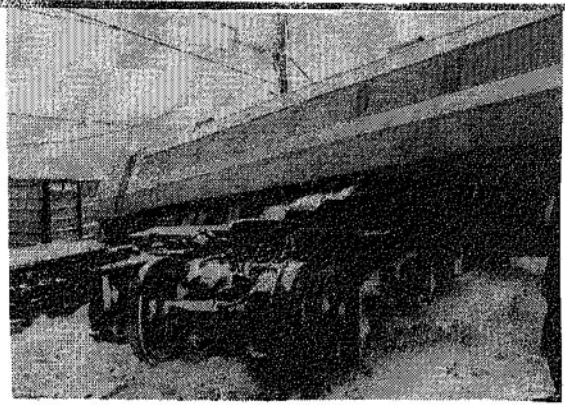
# 国鉄新潟

No. 559

発行 86年1月15日  
 国鉄労働組合 新潟地方本部  
 発行 責任者 久仁雄  
 守橋 責任者 宣部  
 編集 責任者 宣部

緊急申し入れ1/6 事故  
 いなほ脱線転落

羽越線は『いなほ14号』  
 脱線・転覆事故による復旧作  
 業が完了し、国土交通省から  
 の指導・指示を受けて運転再  
 開となります。



現在も事故調査委員会に  
 よる事故原因の究明が続い  
 ています。が地方本部は一月  
 六日、新潟支社に対し運転再  
 開にあたって当面の処置と  
 して緊急申し入れを行いました。

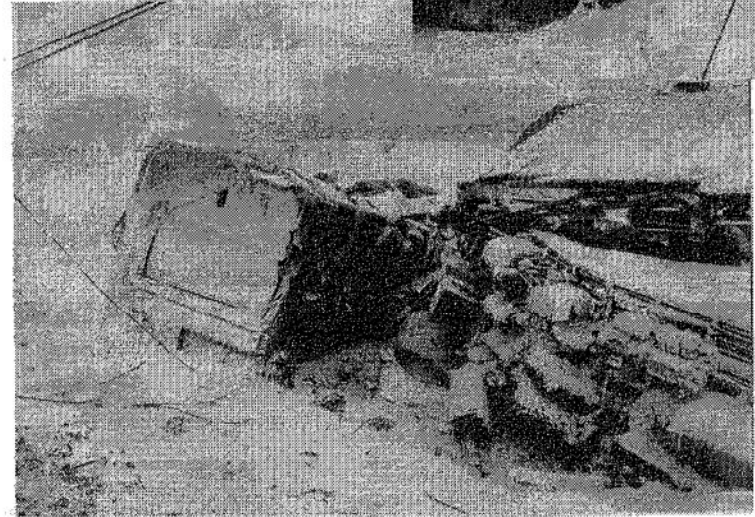
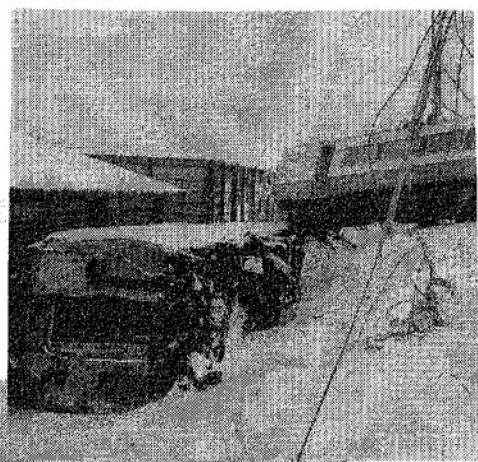
4項目申し入れ  
 安全輸送の確保

① 運転再開に当たっては何  
 よりも列車乗務員(運転士・  
 車掌)及び乗客の生命と財産  
 を守るために、安全輸送確保  
 が大前提であり、そのために  
 は風速計を現在の秋田方一  
 箇所ではなく、橋梁の新潟方  
 にも新たに設置すること。

列車を停止できる  
 システムを

② 列車運行に当たっては、  
 『気象異常の取扱い(通達)』  
 平成十四年九月十八日・新支  
 総安第110号』に基づき、  
 現行の『5(2)一般規制区  
 間における運転規制等の実  
 施』適用を改め、新潟支社管  
 内全線区に対し『5(1)早  
 目規制区間における運転規  
 制等の実施』を適用すること。  
 なお、橋梁付近において突風  
 等が吹いた場合に、直ちに列  
 車を停止できるシステムの  
 確立・導入を図ること。

③ 乗客等に対しては、『早日  
 規制区間における運転規制  
 等の実施により、列車ダイヤ  
 が大幅に遅れる場合がある』  
 ことを駅改札口に掲出し乗  
 客の理解と協力を訴え、安全  
 運行の信頼回復を図ること。



写真は酒田支部 吉田さん  
 から送っていただきました。

## 犠牲者に献花

地本 守橋委員長

1月8日、国労本部など各機関役員が、事  
 故現場に訪れ、亡くなられた5名の方々のご  
 冥福を祈り献花台に花束を手向けました。

一行は、酒田支部役員の案内で本部から佐  
 藤委員長、久保業務部長、東日本本部伊藤委  
 員長、東京地本阿部委員長、新潟から守橋委  
 員長が同行しました。

前日から、日本海側は吹雪舞う大荒れの天  
 候でした。乗車した7日の『いなほ5号』が  
 雪を抱き込み、4時間の立ち往生。やっとの  
 思いで、代替バスで夜遅くに酒田に到着。

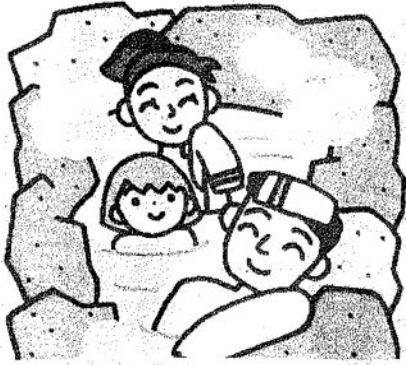
事故現場では、地元関係者から事故当時の  
 状況説明を受け、あらためて安全確立にむけ  
 た取り組みの強化を誓いました。

# すばらしい 教宣活動

東日本本部主催  
教宣部長会議  
から～

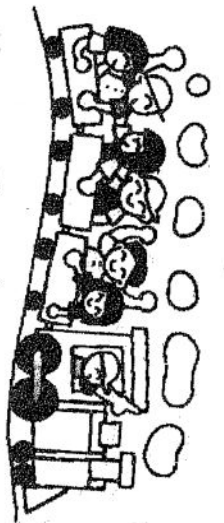
昨年十二月十八日に東日本本部の教宣部長会議がエリア本部で開催され、各地方の教宣活動の報告・交流が行われました。

機関紙は、ほとんどパソコンによる編集・企画で行われています。毎月、定期発行で3回程度、また毎週発行している地方もありました。教宣活動・機関紙活動の重要性について意見交換を行いました。



各地方の活動状況について

- ★ 毎月二回の定期発行。各支部へ取材・連載記事。教宣部長会議の開催。サークル事務局への記事の要請。
- ★ 毎月十日の定期発行。速報版年五～六回。文化・レクは六月にソフトボール二月にゴルフ。
- ★ 不定期で月三～四回発行。サークルの組織化を。
- ★ 不定期で二～四回発行。文化レクは運動会開催(五百～六百名参加)。
- ★ 毎週発行。編集委員会は無いが地本執行委員会で議題に上げ企画・編集会議を開催。職協・三役に記事要請。文化レクは点から線への取り組みを進める。教宣担当者会議の開催。
- ★ 不定期で年六回くらい発行。教宣部を二名体制に補強。
- ★ 毎月一回定期発行。編集



機関紙活動の重要性報告

委員は各職場から七名、定期開催。文化・レクは団結祭りの開催。

★ 毎月二回の定期発行。集金開催があると即日発行している。各支部・各地区・分会の担当者会議を開催。共通ソフトを活用している。学習会や会議の開催がされている。文化・レクは、各クラブ・サークル代表者会議で具体的内容を議論。独自の野球大会を計画。ゴルフなど。



## 他に危険箇所ないか？

運転士の懇談会計画

『いなほ 14号』事故に関連して本部は『安全総点検』の取組強化を指示しました。今回の事故は、突風が原因との見方が強まっているが、他に危険箇所、因子はないか、運転士を中心に、日常業務の中での問題点を明らかにするため、地本と運転協議会が懇談会を計画しました。

## 『安全総点検 懇談会』

◆ 日時 1月26日 16時～  
◆ 場所 地本 2階

### 全体の意見から

- 地方・職協へのメールアドレスの新設。
- 東日本本部のホームページを簡単に開けるようにしてほしい。本部は簡単に開けるが、本部からエリアへいけない。
- ホームページの内容について更新を頻繁に。カウンターの設置を。
- 携帯電話でホームページを見られるようにできないか。
- 携帯メール・連携を強められるか
- ハムクラブのホームページの開設。現在、北海道・関西・九州へ広がっている。

各地方・職協などから、いろいろな意見・活動報告がありました。エリア本部のホームページについての活用状況はどうでしょうか。今、各家庭ではパソコンがあるのは、当たり前ですね。組合員みなさんから意見要望など出していただけて活用しやすい環境にしていきたいと考えています。

機関紙の発行状況について、各支部はどうでしょうか？ なかなか厳しいと思いますが、ひとり考えず執行委員会でも話し合ったらどうでしょうか。

定期的な教宣担当者会議の開催についても考えていきたいと思えます。